

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2009年度 Vol.1

自然・環境と花・蝶

わたしたちは元気で、明るく楽しい生活をするとともに、自然を大切にしよう、環境を守ろうと心がけています。春になれば陽射しは強くなり、花が咲き蝶が飛び交いますが、これは当たり前のことでしょうか。自然があり、環境が守られているからこそ花は美しさを見せ、蝶は花に止まるのです。花も蝶もそんな自然と密接に関係し、わたしたちの生活に潤いを与えてくれています。

ECOフェスティバル2009 開催

5月24日(日)しながわ中央公園で‘しながわECOフェスティバル2009’が開催されました。



濱野区長の挨拶の後、資源リサイクル活動等を推進してきた25団体に対し濱野区長から感謝状と記念品が贈呈されました。

●ステージ

エコレンジャーショー、少年少女合唱団等のLove&Peaceコンサート、リサイクルの布を利用したこどもファッションショーなど各種アトラクションが観客の盛んな喝采を浴びていました。



●手作り環境工作教室

エコバッグの手作り教室や、けしゴムはんこづくり体験など、環境を考えながら楽しい工作が体験できました。

●模擬店

焼きそば、カルビ丼、飲料などが



販売され、昼食時には多くの人のお腹を満たしてくれました。

このイベントでは「ごみゼロ」を目指しています。またマイ箸運動推進中のた



め会場内では割り箸の無料配布はせず、国産間伐材・端材の割り箸を1本10円でご協力いただきました。またここで使用している容器は環境に優しい非木材容器を使っています。

●早川・山北町の物産展

品川区と交流のある神奈川県山北町や山梨県早川町から、朝採りの新鮮な野菜や季節の果物、地域特産品が所狭しと並べられ、多くの人買い求めていました。



●ごみ、資源回収

ごみ・資源回収場所には「もやすごみ」「エコ容器」などが分別回収されており、高校生のみなさんの協力も得てきれいに回収されていました。



●フリーマーケット

グラウンドの周りではフリーマーケットが開かれ、掘り出し物もあり注目を集めていました。



●エコな乗り物

環境に優しい乗り物の乗車体験にみなさん列を作って順番を待っていました。

- ①自転車タクシー：排出ガスゼロの「ペロタクシー」
- ②燃料電池車：水しか排出しない次世代エコカー
- ③ソフトQカー：環境に優しい電気自動車
- ④電気自動車：ガソリン車に代わる次世代カー



環境学習講座

古布で「こいのぼり」をつくろう

4月24日(金)「古布で『こいのぼり』をつくろう」(講師:アート・ディレクター 竹中信子氏)が環境情報活動センターで開催され、16名が参加しました。

端午の節句も近いので、皆さん一心に針を動かしていました。今回の材料は講師に準備していただいたもので、古帯やリボンテープの再利用です。これらを使って長さ30センチ

程のかわいいこいのぼりを作りました。

参加した皆さんは裁縫になれた方が多く、すぐに製作に取り掛かり時間通り順調に作品を仕上げました。こいのぼりの胴体を縫うときなどに針を使いましたが、全部接着剤で貼り付けても作品は出来ますので、裁縫が苦手な方もチャレンジしていただけたことでした。



クリーンエネルギー 燃料電池でプロペラを回そう

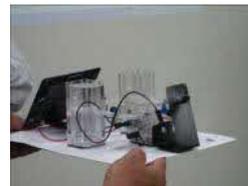
5月17日(日)「クリーンエネルギー・燃料電池でプロペラを回そう」(講師:クリーンエネルギー江東 山下浩三氏、風間信二氏ほか)が環境情報活動センターで開催され、子どもと保護者26名が参加しました。

クリーンエネルギーとは、環境汚染物質(二酸化炭素や窒素酸化物)を出さない、あるいは出すけれど非常に少ないエネルギーのことで、太陽光、太陽熱、風力、水力などがあります。

今回の講座ではクリーンエネルギー全般のお話のほか、それを利用した燃料電池でLEDを点灯させる、プロペラを回す、ミニカーを走らせる実験をし、また無駄なエネルギーを使わないエコな生活の大切さを学びました。

小学低学年にはやや難しい内容であったと思いますが、9V電池やLEDなどの実験道具を自宅に持ち帰ってもう一度試していただいていることと思います。

自然エネルギーや燃料電池の話題を通して親子の会話がさらに増えればうれしいですね。



春休みこども環境学習講座 生きもの博士になろう

3月26, 28, 29日「生きもの博士になろう!」(講師:生態教育センター 小林友美氏ほか)が環境情報活動センターで開催され、小学生69名と保護者51名が参加しました。

(1)植物のふしぎ発見!(26日)

植物は自分では動けないのでいろんな方法で子孫を残す工夫をしています。しながわ中央公園にあるサンシュユの木の周りにたくさんの種が落ちています。でも他の木の種です。種は風に乗って運ばれたり、動物の毛に付着したり、また動物に食べられ消化されない種はフンと一緒に排泄され、いつか芽生えるかも知れません。植物のいろいろな不思議を知りました。



(2)昆虫を探しに行こう!(28日)

まずはみなさんがどれくらい虫の見分けができるか挑戦です!画面の中に虫が隠れていますが、どれが虫かわかるかな?目を鍛えたところで虫探しに、しながわ中央公園に移動しました。この季節にどんな虫がいるのかな?



クモの巣・クモの卵・アブのサナギ・カマキリの卵などの虫がいます。普段、何気なく通っている道の柵にもこんなたくさんの虫たちがいました。最後に公園で落ちていた葉っぱや枝をつかって自分のオリジナルの虫を作りました。

(3)身近な鳥のウォッチング(29日)

みんなが知っているスズメ、本当に知っているでしょうか。6枚の絵を見て、スズメの顔・脚・しっぽ・くちばし・羽根・模様などの違いを探し、元気よく手を上げて答えました。

公園に行ってスズメを見つけ、さっき見た絵を思い出しながら観察しました。鳥を探すポイントは、鳥の声です。「何種類の鳥の声が聞こえるか」「他にどんな種類の音が聞こえるか」目をつぶって耳を澄ませました。



本講座は全日程、室内(環境情報活動センター)と野外(しながわ中央公園)での実施でしたが、幸い3日間とも天気に恵まれ、青空の下、気持ちよく自然観察ができました。身近な自然に触れる子どもたちの笑顔はいきいきとしていました。

COP15サイクリングツアー スタート

本年12月にデンマークのコペンハーゲンで開催されるCOP15(各国の環境関係省庁の大臣が集まり、年に一度開催される会議)に先立ち、環境に対する関心を高めるためのサイクリングツアーが5月23日東京をスタートとして全国9都市で開始されました。



都内でも各地からゴール地である神宮外苑絵画館前広場に向けて自由に走ります。品川区では23日(土)朝から受付

順にスタートし、午前10時には山田副区長からデンマーク公使に区長からの環境メッセージが手渡され、その時点



で集まった9人がゴールに向かって元気に一斉スタートしました。

ツツジとサツキの違い、ご存知ですか

4月から6月の3ヶ月にわたり、赤やピンクなど色鮮やかに咲く花としてツツジとサツキがあります。品川区の花はサツキですので、その違いを見てみましょう。

本来サツキはツツジ科の一種ですので、比較することによって多少のためらいはありますが、よく耳にする質問です。



(ツツジ:4月下旬撮影)

項目	ツツジ	サツキ
開花時期	4月中旬～5月上旬	5月中旬～6月中旬
花卉の大きさ	一般にサツキより大きい	一般にツツジより小さい
新葉の出方	花の後に新葉が出る	新葉が出てから花が咲く
つぼみにある毛	緑色	茶色
花の数	一つの枝に複数の花	枝先に1個(まれに2個)
小枝の数	少ない	多い



(サツキ:5月下旬撮影)

(「福智山ろく花公園」ホームページより)

環境記者活躍中

今年の桜、いかがでしたか。区民「環境記者」として活躍中の内田雅弘さんから今年の品川区各地の桜をご紹介します。

●公園の桜

戸越公園、しながわ区民公園、しながわ中央公園、東品川海上公園など5公園の桜です。池に映る戸越公園の桜(右)は歴史を感じさせてくれます。



●寺社の桜

20の寺社の桜を紹介していただきました。荏原神社(左)と居木神社(右)



●街並みの桜、坂道にある桜、目黒川沿いの桜、しながわ花海道の菜の花と桜などです。

まさに2009年品川区内の桜の総括といえます。

このまとめは当センターのホームページでご覧いただけます。またセンター内には内田さん撮影の約500枚の写真とそのレポートが揃っており、自由にご覧いただけます。



一方、開園3年目を迎えた新しい東品川海上公園(左)では、若い家族連れなどが満開の桜の下で日曜日の午後のひと時を楽しんでいました。

環境記者募集中

環境情報活動センターでは現在区民「環境記者」を募集しています。

花の開花情報、地域の環境イベント情報など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方を環境記者

として登録します。いただいた記事や写真は環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。区内在住、在勤、在学で環境に興味のある方のご応募をお待ちしています。

詳細は環境情報活動センターまで (TEL5742-6533)

「林試の森フェスタ」開催

4月26日(日)「林試の森フェスタ」がさわやかな青空の下で開催されました。

フルート、サクソ、ピアノや太鼓の演奏、コーラスや踊り、また神出鬼没の大道芸、模擬店などたくさんの催しがあり、家族連れが楽しい一日を過ごしました。



林試の森公園は品川区と目黒区の境にある都立の公園で、休日ともなると多くの家族連れが遊びや散歩を楽しんでいます。

時々吹く風にこいのぼりも元気よく泳いでいました。都心にありながら緑の多い空間は空気をおいしく感じさせてくれます。



「EBARA夢フェスタ」開催

東急目黒線武蔵小山駅と西小山駅の駅前広場が完成し、それを記念して地域の皆さんが参加できる「EBARA夢フェスタ2009」が開催されました。



このイベントは5月16日(土)と17日(日)の2日間、両駅前だけでなく荏原文化センターや戸越公園など荏原地区の各施設で開催され、多くの区民が参加しました。

5月16日(土)、ツツジが咲き新緑が目にしみる戸越公園で

のイベント取材しました。

●みどりと花のフェスティバル

花を愛するグループの方による苗木の紹介や販売です。朝には苗木のプレゼントもあり、多くの方が思わぬプレゼントに顔もほころんでいました。



●スケルトン車の展示とごみ積み込み体験

なかなか見かけることのないスケルトン車の展示です。ごみ収集車の中はこうなっているのですね。

よくわかりました。小さな子どもにも大変人気の車です。



●環境ゲームでマイバッグ運動をすすめよう

環境啓発パネルの展示です。皆さん環境クイズに挑戦していました。

●ブラスバンドの演奏



父兄の皆さん、わが子の晴れ姿をカメラに収めました。みなさんの明るい声が聞かれた戸越公園でした。



品川区環境情報活動センター 今後のイベント予定

①「身近なもので作ろう ‘ワンダーボックス万華鏡’」

光の原理を学びながら、きれいな光ができる不思議さを体験します。

日時/6月28日(日)14時~16時

対象/小学生

②「牛乳パックで‘はがき’をつくろう」

牛乳パックのリサイクルの現状、森林管理状況など、牛乳パックの理解を深め、資源を活用して「はがき」を作ります。

日時/7月17日(金)13時半~16時

対象/一般

③「太陽光エネルギーで目玉焼きを作ろう」

簡易陣笠「ソーラークッカー」を手作りします。

日時/7月26日(日)14時~16時

対象/小学生

◎夏休みこども環境講座

①「気象予報士から学ぼう ストップ、地球温暖化」

地球はどうして暖まるのか、それによってどんな影響があるのかなど実験と工作を通して学びます。

日時/7月24日, 8月8日, 8月23日
(14時~16時)

対象/小学生(3年生以上)

②「キッチンからはじめるエコロジー」

身近な食を通して、楽しみながら環境を考えます。買物・調理・片付けなどすべての内容で環境に配慮した料理を作りながら環境について学びます。

日時/8月3, 4, 5日(14時~16時)

対象/小学生

講座の名称はいずれも仮称です。応募方法等については「広報しながわ」、「品川区環境情報活動センター」のホームページにて後日掲載します。

しながわECOだより2009年度Vol.1

発行: 品川区都市環境事業部

編集: 特定非営利活動法人
エコタウンしながわ

発行日: 平成21年6月15日

住所: 〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX: 03-5742-6533

E-mail: center@shinagawa-eco.jp

HP: http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2009年度 Vol.2

夏休み子ども環境学習講座

品川区環境情報活動センターでは区民を対象とした環境学習講座を開催しております。

夏休みは子ども参加の2講座を開催しました。

キッチンからはじめるエコロジー

8月3～5日、品川介護福祉専門学校で開催されました。

指導は東京ガス株式会社南部支店エコ・クッキングインストラクターの皆さんです。

身近な「食」を通して楽しみながら環境問題を考えようというこの講座には、子どもと保護者計129名が参加しました。調理室は連日美味しい香りと、元気な子どもたちの熱気でいっぱいでした。



環境に配慮した「買物」・「料理」・「片付け」に至る一連の流れの説明と調理のデモンストレーションが行われました。旬の食材を買う、無駄なく使う、省エネな湯の沸かし方、洗い方の工夫で水を節約、フタをゴミ入れとして使用、汚れた皿は古布で拭いてから洗うなど、誰にでもできるエコなポイントがたくさんあります。



それでは実習開始です！

みんな嬉しそう～ 今年のメニューは「エコノミ焼き」と「エコだんごきょうだい」の二品です。どちらも美味しくできました。

「エコノミ焼き」は桜えびの香りがしてすごく美味しそうです。

食べ終わったら後片付けです。



水で洗う前に小さく切った古布で汚れた皿を拭き取ります。汚れの半分以上がこれで落ちてしまいます。



身近な「食」の中で、私たちにできるエコはたくさんありました。ひとりのエコは少しでも、みんなですれば大きなエコになります。気づきの多い講座でした。

気象予報士から学ぼう ストップ、地球温暖化

7月24日と8月8日、環境情報活動センターで開催されました。

講師は気象キャスターネットワークの気象予報士 武田恭明さんと長島純子さんほかです。



この100年で地球の気温は0.7℃、日本は1℃、東京は3℃高くなっています。温暖化の原因は二酸化炭素！実験では空気と二酸化炭素(CO2)の箱を同時に暖め、その温度変化を比較しました。5分間で1℃の差が出ました。

(空気:41.2℃、CO2:42.2℃)やはり目には見えなくてもCO2は温暖化の原因物質のようです。



白熱灯は蛍光灯

より電力消費が大きいことを体感する実験です。手回し発電器で蛍光灯は1人でも点きましたが、白熱灯は3人でやっと点きました。今日勉強したことをエコうちわに絵や文字で表現しました。



CO2が水に溶ける実験です。PETボトルに水とポンプのCO2を入れてよく振るとPETボトルはへこんでしまいました。もう一度CO2を入れてみましたが、今度はへこみが少ない。これ以上CO2が水に溶けない



ということです。CO2を吸収してくれている海も限度があるでしょう。

海面上昇実験です。フラスコの中に青色の水が入っています。この周りに湯を入れると色水は暖まり、フラスコの上につけたガラス管を上ってきます。

しばらくすると、暖められて体積が増えた水が細いガラス管の先端からあふれ出しました。

いろいろな実験を通して地球温暖化について学びました。



太陽エネルギー 見本市 開催

7月25日から29日の5日間、「見て」「聞いて」「触れてみて」をキャッチフレーズに、しながわ中央公園（25、26日）と区役所第二庁舎3階ロビー、環境情報活動センター（27～29日）で開催されました。

本間副区長の開会宣言に続くテープカットで太陽エネルギー見本市はスタート。前日までの雨天から打って変わって太陽がまぶしく照り付け、当日イベントに相応しい好天になりました。



25社の出展企業・団体の紹介コーナーでは、来場者が熱心に説明に耳を傾けていました。



住宅用太陽光発電システム、次世代型ソーラー給湯システム、太陽電池の紹介、太陽熱利用のススメ、住まいの省エネ相談、省エネ・節約のヒントのコーナー、また住宅用太陽エネルギー利用機器補助制度の案内などがありました。子どもに人気の電気自動車‘Soft Q Car’もイベントの盛り上げに一役買ってくれました。



環境情報活動センターのセミナールームでは「太陽光発

電システムとは」（25日）、「太陽エネルギーの機器を設置するときのメリット」（26日）をテーマにセミナーが開かれ、それぞれ20名ほどの参加者がありました。



また10歳以上を対象とした「夏休みソーラー工作教室」が3日間（27～29日）開催され、各回約30名が参加してソーラーF1（ソーラーカー）作りに挑戦しました。



打ち水大作戦・しながわ2009



7月25日（土）15:30から「打ち水大作戦・しながわ2009」の「一斉打ち水」が宮前商店街で開催されました。



当日は前日までと

は打って変わって晴天の中、打ち水が始まりました。カウントダウンの前から地元サッカーチームの仲間の元気な声が飛び交っていました。



打ち水に使用した水は区で用意した井戸水、豆腐屋さんからの再利用水、それぞれが持ち寄った風呂の残り湯などで、水道水は使いません。これが打ち水のルールです。

打ち水前後の温度の変化は、周囲の気温はあまり変わっていませんが、地表面では40.5℃から33.4℃へ7℃も下がり、全体に涼しく感じられました。

打ち水は30分くらいで終了しましたが、参加した皆さんには、打ち水で使ったジョウロや水鉄砲、エコバックとお菓子が配られ、楽しかった打ち水大作戦は終了しました。



エコクリーンキャンペーン2009

エコスポット事業6周年記念 イベントキャラバン開催！

平成21年7月5日(日)戸越銀座銀六商店街のお休み処前で「エコスポット事業6周年記念/イベントキャラバン」が開催されました。(18~19日に立会川駅前などでも開催)

このイベントキャラバンは日頃の区民のエコ活動への協力に感謝する意味も込め、エコスポット事業6周年記念として開催されたものです。



オープニングでのダンスとミニコンサートの後、先着100名に区商連デザインのエコバッグが配られました。

(配布は2回で計200名)



エコスポットとは空缶回収機のごことで、品川区内では現在、商店街など9箇所



置されており、品川区内で年間約300万本が回収されています。エコスポットに空缶を投入するとポイントカードにポイントが加算され、一定のポイントが貯まると品川区内共通商品券と交換できるというものです。こういった地道な活動の継続が、私たちの周りの環境維持につながるのですね。



ジャガイモを収穫しました



7月16日(木) 戸越台中学校園芸部の生徒8人が終業後、顧問の山本秀司先生の指導の下、学校の農園でジャガイモの収穫を行いました。



山本先生は「気温が30℃以上になり、つるが枯れるころに収穫する。つるが土の面から出ている周りをスコップで掘るのだよ。土の表面を掘るとジャガイモに傷をつけてしまうので



深めに掘るように。空いた部分になすやピーマンも育っているので、間違ってそれを抜かないように」といった注意をします。全員和気あいあい、楽しく

掘って行きました。

結果はご覧の通りで、300個ほどのジャガイモが収穫できました。

3月に蒔いた種が今、こんなに大きなジャガイモに成長した驚きと、たくさん収穫できたことに生徒たちは満足顔でした。



「野菜や植物を育てるのは楽しい」という生徒の声は、自然に親しみ、自然を大切にする心の表れと思いました。

環境記者活躍中

環境記者 朝陽丘ひかりさんの投稿記事です
大崎の路地を散歩中に目にした風景を届けていただきました

いちじく

大崎の路地を散歩中、ふと空を見上げると、青々とした緑色の大きな葉の中に幾つもの実が実りはじめていました。



まだ緑色のイチジクの実。

イチジクは漢字で「無花果」と記します。

その名の通り、花が無い果実。花を咲かせる事なく実る果実のイチジクは不思議な果実。

熟れると赤紫色に色づいて甘い果実になります。

イチジクは 熟れると紅く 花は無い

ヤマトシジミ

大崎広小路駅の線路沿いに蝶が舞っていた暑い夏の朝。

ヤマトシジミです。全国に生息し、普通に見られる種類の蝶で、色は灰色ですが羽根の模様が印象的です。



ヤマトシジミという名は、二枚貝のシジミにも同様の名前を持つヤマトシジミ(大和蜆)があり不思議な感覚ですが、チョウと貝類で同じ名前を持つ種類は複数あります。

同じ名の ヤマトシジミは 蝶と貝

環境記者募集中

環境情報活動センターでは現在区民「環境記者」を募集しています。

花の開花情報、地域の環境イベント情報など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方を環境記者

として登録します。いただいた記事や写真は環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。区内在住、在勤、在学で環境に興味のある方のご応募をお待ちしています。

詳細は環境情報活動センターまで (TEL5742-6533)

環境学習講座（会場：品川区環境情報活動センター、品川シアター）

身近な自然観察～鳥・花・虫を楽しむ～

6月16日(火) 講師：自然観察大学副学長 唐沢孝一氏

自然保護活動についての話と、写真を見ながら自然観察のノウハウを分かりやすく解説していただきました。

一昔前には国内で見たことのないチョウや昆虫が、最近はずごい勢いで増えています。写真のチョウも、もともとは近畿以南にいたものが温暖化により北上し、今では関東地方でも当たり前に見ることができるようになりました。



生物は複雑な環境条件の中で生きているのですが、南方系の生きものが日本で越冬できる条件が揃ってきたということです。昆虫や鳥などの生態系によっても環境の変化が見てとれます。

太陽光エネルギーで目玉焼きを作ろう

7月26日(日) 講師：コウトウENG代表 藤沢宏吉氏

厚手の銀紙の裏面に引かれた切り取り線に沿って切り取ります。それを円錐状に丸めて所定の位置にテープを貼ると陣笠ソーラークーラー本体の出来上がりです。

実験方法は、生卵を黒い布に包み、テープで止め、ガラス瓶の底に置きます。その瓶の上にプリンカップを乗せ、生卵を入れて同時クッキングの開始です。プリンカップには目玉焼き、瓶の中ではゆで卵が出来上がりました。

講座では実験をして既に出来上がった物をご覧いただきましたが、皆さんには陣笠ソーラークーラー本体、プリンカップ、ガラス瓶をお持ち帰りいただきましたので、好天時には各家庭で目玉焼きやゆで卵を作ってくださいと思います。

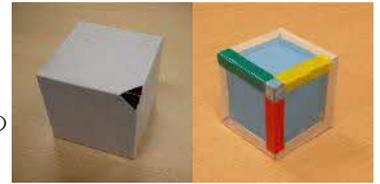


ワンダーBOX万華鏡

6月28日(日) 講師：千葉県立船橋法典高校 船田優氏

一般の筒形万華鏡とは異なり、箱型（立方体）の万華鏡です。

材料はシート状のミラー、ボール紙、ビニールテープなどで、ミラー以外は身近にあるものです。ミラーの裏面をドライ



バー等で削り取りますが、それによって見え方が変わり、オリジナルのデザインを楽しむことが出来ます。今回は12本の直線で削り取り、赤・緑・黄色のビニールテープを使用しました。角の▼部分から中をのぞくと、キレイな色の世界が広がりました。

牛乳パックでハガキをつくろう

「牛乳パックリサイクル講習会」7月17日(金)

牛乳パックリサイクルは、一人の主婦の「もったいない」という考えから始まりました。牛乳パックの再利用を通して子どもたちに「ものを大切にする心を教える」というのが基本理念です。紙パックのリサイクルはいろいろありますが、一番量が多いのは店頭回収です。なお回収率では学校給食の75%が最高です。

講義の後、牛乳パックで作ったパルプを使ってハガキを作りました。細かくゆらして厚さを均一にするにはコツがあります。講師の方々に教えていただき無事完成。「ものを大切にする」という精神をうけつぎ、できることから楽しんで環境を守るという意義のある講座でした。



品川区環境情報活動センター 今後のイベント予定

①「海流／海の中にある流れがどんなことを起こすかな？」

水そうに流れ（海流）を起こして、海に捨てられたごみの動きを観察します。

日時／9月27日(日)14時～16時

対象／小学生

②「オランウータンと自然を守る活動」

オランウータン等絶滅危惧種の救出や生態系保全に向けた活動を紹介します。

日時／10月11日(日)14時～16時

対象／一般（親子での参加も可）

③「秋の寄せ植え」

日時／10月16日(金)13時半～15時半

対象／一般

講座の名称はいずれも仮称です。応募方法等については「広報しながわ」、「品川区環境情報活動センター」のホームページにて後日掲載します。

しながわECOだより2009年度Vol.2

発行：品川区都市環境事業部

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成21年8月31日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

品川区環境情報活動センターを利用しませんか

●センターのご利用について

環境に関する活動をする団体もしくは個人どなたでも無料でご利用いただけます。セミナー(会議室)の他、数人の方でご利用いただけるミーティングコーナー、環境に関する書籍・雑誌等を備えた資料コーナーがあり

ます。セミナー(会議室)の予約については当センター窓口、あるいは下記ホームページで受け付けています。(http://shinagawa-eco.jp/)



見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2009年度 Vol.3

環境記者 活躍中 第10回環境記者情報交換会開催

平成21年10月24日(土)、第10回環境記者情報交換会が6名の環境記者の出席のもとで行われました。皆さんの活発な発言があり、終了予定時刻をオーバーしてしまいました。特に今回は従来にも増して幅広い内容での意見交換が行われ、改めて環境をテーマとした問題の広さについて考えさせられました。

インタメディア代表の佐山吉孝氏から、「昔のおもかげを探してまち歩き その二、大井の高台から浜川の海辺へ」と題してお話を伺いました。まちを歩いていると歴史や成り立ちを知るきっかけに出会います。



南大井二丁目の国道1号線沿いにある6棟のマンションの方々が協同して歩道の花壇の管理をしています。品川区民公園やしながわ水族館へ来る方が眺めていってくれます。

あるマンションの敷地内にユリノキがあります。それを切るという話を聞いたので、切らないようにしてほしいと思ったのですが・・・

緑を大切にしようと言っているながら実際の管理となると難しい。枯葉の掃除や住民からの苦情がないようにしたいということが問題らしい。

最近環境関係の新聞記事が増えており、その一例を紹介します。「緑のカーテン」は遮光だけでなく、葉の水分が蒸発するときに空気中の熱を奪う効果もあるとのこと。先生たちの本当のねらいは、こどもの心に資源を大切に意識が育つことだそうです。



環境記者の皆さんが取り組んでいる活動紹介と情報交換です

環境記者になって季節感を感じられるようになりました。カメラを持って散歩に出ると、ちょっとした変化も感じるようになりました。目黒川に関心がありますが、その浄化のために炭素繊維を使ったらどうかと思います。

品川区協働事業「花いっぱい」運動に参加しています。平塚二丁目町会の会館屋上で屋上緑化を進めており、常緑キリンソウを植えています。この花は小さな花ですが1年中緑で、屋上緑化に相応しい花です。

鳩山首相の国連気候変動サミットでの発表には驚きました。この達成のためには1990年比で温室効果ガスを30数%削減しなければなりません。車は電気自動車や燃料電池車に、新たに建築する建物には太陽光発電設備を設置するなど、国民が本当に一致団結することが必要になります。ただしこのことについて良い悪いを言っているのではありません。

環境記者募集中

環境情報活動センターでは現在区民「環境記者」を募集しています。花の開花情報、地域の環境イベント情報など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方を環境記者

として登録します。いただいた記事や写真は環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。区内在住、在勤、在学で環境に興味のある方のご応募をお待ちしています。

詳細は環境情報活動センターまで (TEL5742-6533)

地球の歴史と環境問題 (9月13日)

講師：元防衛大学校教授 小西誠一氏



地球の誕生は約46億年前、人類が生まれたのはそのずっと後で、約400万年前。さらに環境問題が発生したのは地球の歴史から見ればつい最近のことです。

森林やオゾン層が破壊され、砂漠化が進み、皮膚がんが増加しています。化石燃料の使用により地球規模から見ればわずかこの100年で二酸化炭素は大幅に増加し、異常気象の発生、氷河の融解、海面上昇などを引き起こしています。

家庭での取組みとして、省エネ機器の選択・買い替え、省エネ適合住宅の建築や築後の断熱工事、太陽光発電の設置など、環境意識を持ってライフスタイルを変えてみましょう。

海流 (9月27日)

【海の中にある流れがどんなことを起こすかな?】

講師：体験学習クラブなぬーく代表の佐藤宏氏ほか

実験を通して、科学と環境について学ぶ講座です。

①青いインクを食塩水(左)と真水(右)にたらし、インクは食塩水では浮き、真水では沈みます。重い順に食塩水、インク、真水ということがわかりました。



②2本のペットボトルを使って冷水と温水の重さ比べをしました。各液体には前もって青(冷水)と赤(温水)の色がつけてあり、慎重にペットボトルの口をチューブでつなぎます。温水は軽いので上へ、冷水は重いので下へ移動しました。真水と食塩水でも同じ実験をしましたが、結果は軽い真水は上、重い食塩水は下になりました。



③海にごみを捨てるとどうなるでしょう?

海に見立てた水槽の水にいろんな色のインクをたらし、ごみを捨てたものと見ます。



①②の実験で海には流れがあることを知りましたが、遠くにごみを捨てたとしても、海でつながっている世界では、結局は私たちの近くに流れてくるということがわかりました。みんなできれいな海を守る大切さを学んだ講座でした。

オランウータンと自然を守る活動 (10月11日)

講師：東京サラヤ株式会社 常務取締役 丹波章滂氏

ボルネオにおける同社の環境を守る活動についてお話いただきました。

ヤシを原料とするパームオイルは私たちの身近な食品品に多く使われていますが、最近ではアレルギーを起こしにくく、自然界で分解しやすい特性を活かして、せっけん、シャンプー、洗剤など環境にやさしい商品に使われています。同社ではヤシノミを原料とした液体せっけんや食器用のヤシノミ洗剤を作っています。

石油などの化石燃料の代りに「環境に優しいバイオディーゼル」として需要が多くなっているこれらパームオイルですが、その85%は東南アジアの熱帯雨林を破壊しながら作られた大規模なプランテーションで栽培されています。そのためその地域に生息するオランウータンやボルネオ象の生息域が狭まってきています。

同社ではプランテーションに侵食されたジャングルを一部買戻し、川の流域に「緑の回廊」を作って動物の生息域を広げようというNPO法人ボルネオ保全トラストジャパンの活動支援を開始しました。



鼻や脚にロープが食い込んだ子象



野菊の苔玉づくり (10月16日)

講師：秋草会メンバー

今回の草花は秋を彩る野菊3種、「ノコンギク」「イズオトメ」「アシズリノジギク」そして「ヒメタデ」です。

ノコンギクを中心に植物のバランス、芯の向きをうまく考えて、植え付ける状態を確認しながら苗の土を少しずつ落とし、好みの形に配置します。

形が決まったら苔を下地にしっかりと密着させて、糸を下から上へと十字に数回ぐるぐる巻きしたらできあがりです。

さあ、できあがりしました。同じ寄せ植えでもそれぞれの個性が出ていてどれも素敵ですね。2~3週間後には開花予定とのこと。

写真右は開花したノコンギクです。



旧東海道を歩いてみませんか

東海道は開かれて400年以上がたっています。その日本橋（江戸）から京都三条大橋までの街道沿いに、現在も当時の町並みが残っているところは、関宿（三重県）をはじめ都市部でないところが多いです。しかし東京23区でありながら、品川宿には古い町並みが残っています。もちろん江戸時代の宿場そのものではありませんが、昔そのままの細い道、神社、仏閣など江戸時代に思いをはせることができます。

品川駅から八ツ山橋を渡り旧街道に入ると、問答河岸の碑（右）があります。あたりは北品川本通り商店会で、ところどころにお休み処があり、手軽に休憩に利用できます。この商店会には旧道ならではの歴史を伝える店舗が何軒かあります。品海公園のあたりで日本橋から2里（約8km）、少し進むと品川宿の本陣跡がある聖蹟公園、入口には土山宿から送られた



北品川と南品川の境である品川橋（左下）があります。橋の手前に「品川宿交流館本宿お休み処」（右下）があり、品川宿の話を聞くことができます。



古い町並みを残すことは、必要な開発を進めつつ、一方で環境の保全を考えることにより、古いものを大切に守っていくことにつながると思います。そういった気持ちを大切にしたいですね。
（左）品川宿の松



松の木があり、この公園の名前は明治天皇が休息したところから名づけられたものだそうです。
（本陣とは、江戸時代参勤交代などの際、大名・貴人が泊まる宿泊所のこと）
聖蹟公園をあとにして少し歩くと、



↑北品川近くの東海道品川宿お休み処

東品川海上公園へ行ってみませんか

東品川海上公園は区民に水とみどりに親しんでいただく憩いの場所として整備されています。

春には園路の桜並木がとてもきれいで、秋にはその紅葉（右）が見られます。冬には運河沿いに咲くナンキンハゼの白い実（下）が私たちの目を引きま



が、また噴水広場では子供が水遊びをする様子が見られます。

アイル橋に立つと、この時期（冬場）よく晴れた日の朝には目黒川上に富士山を見ることができる日もあります。



春と秋には「みどりと花のフェスティバル」が開催され、苗の販売も行われます。近くで自然にふれあえる東品川海上公園をぜひ訪れてみてください。

ガーデナーによってよく手入れされた屋上庭園（2007年3月31日オープン、一般開放は9時～21時）では、春のバラやチューリップ、イングリッシュラベンダー、初夏のアナベル、夏のスイレンやダリア、秋のサルビア、冬



のジンチョウゲなど、四季を通して美しい花々が私たちを迎えてくれます。

公園内には芝生が張られており、夏場には鮮やかな緑の芝生の上で親子で楽しむ光景

屋上庭園で冬に咲く花々



ジンチョウゲ



ミモザ



マンサク

イチョウ(銀杏)と銀杏(ギンナン)

黄金色に美しく色づいたイチョウは私たちになじみが深い植物です。気温が10℃を下回ると黄葉が始まり、5℃以下になると色付きが一気に進みます。

全国の街路樹(高木)の中で最も多いのがイチョウで、私たちの目によくふれるわけです。ただし品川区内の大木はサクラが最も多く、続いてケヤキ、シイ、クスノキそしてイチョウで、この5種で全体の約7割を占めています。(平成14年品川区調査)



区役所前のイチョウ

品川区には天然記念物のイチョウが何箇所かあります。例えば光福寺、品川寺(ホセンジ)、稼穡(カシヨク)稲荷社のイチョウです。



左の写真は区民環境記者秋田様から昨年11月末に送っていただいた品川稼穡稲荷社のイチョウの写真です。晩秋になると公園、お寺や神社の境内などでは黄葉したイチョウが見られますが、その木の下には独特な臭いを発するギンナンの果実が落ちています。この臭いは野生動物から身を守るためといわれていますが、自身の色や形を変えることによって身を守っている生物もいます。

臭いとは違って、炒ったり、茶碗蒸しなど、料理で食べるギンナンのおいしさはまた格別です。

イチョウは雌雄異株といって雄株と雌株がありますが、果実は雌株にだけなります。ただし一本の木で両方ある場合もあります。それでは雄株と雌株ではどこが違うのでしょうか。見分け方は木ではわかりませんが

葉っぱでわかり、雄木は葉っぱの真ん中に割れ目があり、雌木は割れ目がないといえます。しかしこれは俗説で植物学的な根拠はないともいわれています。そうは言うものの、何となく確からしい気がします。



種子：外側が硬い殻、内側部分を私たちは食べています
果実：独特の臭いを発する部分です

東京都のシンボルマークは都の木「イチョウ」を図案化したもので、TOKYOの「T」を中央に秘め、これから東京都の躍動、繁栄、潤い、安らぎを表現したものだそうです。東京都以外にもイチョウを自治体の「木」としているのは大阪府と神奈川県、都内では1区、8市があります。それだけ私たちの身近な木であるということですね。ちなみに品川区の木はシイノキとカエデです。



家庭で果実からギンナンを食べる場合は、2~3ヶ月果実を土に埋め、腐食して白い殻が出てきた後、水洗いして天日干しにすると販売されているギンナンになります。



大龍寺のイチョウ



星薬科大学のイチョウ

品川区環境情報活動センター 今後のイベント予定

①「幕末の台場埋立てと品川宿」

江戸時代、台場埋立てにあたり御殿山の土を品川宿を突っ切って運ぶ工事が行われました。

日時/2月14日(日)14時~16時

対象/一般

②光の実験: 白い光の正体を探れ!

光の不思議を体験しましょう。

日時/3月7日(日)14時~16時

対象/小学生

③「春の寄せ植え」

日時/3月、13時半~15時半

対象/一般

講座の名称等はいずれも予定です。内容、応募方法等については「広報しながわ」「品川区環境情報活動センター」のホームページにて後日掲載します。

品川区環境情報活動センターを利用しませんか

●センターのご利用について

環境に関する活動をする団体もしくは個人どなたでも無料でご利用いただけます。セミナー(会議室)の他、数人の方でご利用いただけるミーティングコーナー、環境に関する書籍・雑誌等を備えた資料コーナーがあり

ます。セミナーの予約については当センター窓口、あるいは下記ホームページで受け付けています。(http://shinagawa-eco.jp/)



しながわECOだより2009年度Vol.3

発行：品川区都市環境事業部

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成21年11月30日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2009年度 Vol.4

しながわ環境大賞決定

平成22年2月13日(土)
きゅりあん小ホール



しながわ環境大賞の授賞式が、2月13日(土)きゅりあん小ホールで行われました。しながわ環境大賞は平成18年度に品川区によって創設され今回が4回目です。この賞は品川区内で優れた環境活動を行っている団体・個人を顕彰し、その内容をみなさんにご紹介することにより、環境活動を広げていくことを目的としています。

環境大賞の活動をご紹介します



●花交差点の仲間たち

歩道の違法駐輪自転車問題をきっかけに品川区南大井二丁目のマンション6棟の人々が集まり、年2回の植栽のほか、大森海岸駅前からしながわ区民公園(水族館)入口までの歩道の清掃と花壇の整備など地域の環境整備活動を行っています。この活動のおかげで今では駐輪自転車を見ることがほとんどなくなりました。



●布ぞうりサークル品川

使い古した布やひもなどを使って、環境にやさしい布ぞうり作りをしています。布ぞうり作りは不要になったものを有効利用できるほか、工夫しながら自分の作品を作ることにより毎日の生活にうるおいを与えてくれます。今後もより多くの人に布ぞうり作りの楽しさを伝えて行きたいと思っています。



●東京サラヤ株式会社

「生物多様性の保全活動」「環境教育の推進」を周辺地域とのコミュニケーションを考慮しながら取り組むという目標を掲げて活動を行っています。昨年環境改善に貢献しようと社屋の前に花壇を作り、昆虫の生息域を増やすことができました。地球環境問題を企業運営の重要なことと位置づけ、今後も挑戦して行きます。

環境賞

家庭倫理の会品川区「皆で汗して住みよい街創成」、小山二丁目東部町会「まちの美化・緑化活動」、ト音記号の会「地域の『子どもと大人』がともに環境教育を学ぼう」、八幡福寿会「みどり花のボランティア『八幡福寿会』」、区立五反田保育園「エコレンジャーと一緒に地球を守り隊」、三澤誠之助(個人)「夜明の清掃屋さん」

環境記者活躍中

2月20日(土)、第11回環境記者情報交換会が12名の環境記者の出席のもとで行われました。

- 五反田近くの公園でゴミを拾い続けていたら最近ゴミがなくなった。まわりをきれいにしておく捨てる人も少なくなるという畔柳さん。
- しながわ観光協会で観光ボランティアをしている勝山さんは、羽田空港が国際化されるので、大田区と一緒に地区紹介活動を進めている。
- 小野さんは花壇作りを通して花と昆虫の生育(成育)にかかわっており、今後はボランティアとして聖蹟公園での花壇作りに取り組む予定。
- 林試の森公園の近くに住んでいる村井さん。林試の森公園の四季を皆さんにお伝えしている。

- 平塚二丁目町会で活動している志賀さん。同町会が行っている「花いっぱい運動」は着実に広がっており、「屋上緑化」実験も順調に進んでいるという。
- 布川さんは品川区地球温暖化対策地域推進計画の策定にメンバーとして参加した。計画は作ることよりも実施することが大切と考えている。
- 寿松木さんはエコバッグに関心を持っている。あるスーパーがポリ袋を有料にしたら売り上げが落ちたため取りやめたと聞いた。袋を有料化するよりも袋代をキャッシュバックしたり、ポイント制にした方が良いと思っている。

- 体育指導委員でもある石毛さん。ウォーキングの途中で見える草花について紹介して行きたいという。
- 白石さんは区のイベントに積極的に参加、協力している。最近子供たちはエコについてよくわかっていて、小学2年生くらいでも、しなければならないことは生活の一部に入ってきている。この子供たちが大きくなったときにどんなに良い品川になるのだろうかとうれしみにしている。



第11回 環境記者 情報交換会



- 勝島運河「花海道」で菜の花などを育てている真壁さん。運河では最近ボラが泳ぎ水鳥も来ているが、水がきれいになっているのですね。
- マンションの管理人をしている青野さんはゴミの分別に努めている。ゴミは海の生物をおびやかす結果につながってしまうという。
- 門倉さんは林試の森公園で毎朝通路の掃除をしているが、一人ひとりの力が全体を変えて行くと思っている。最近公園もきれいになってきており、新しい方も加わり徐々にこの輪が広がっていくことを期待している。



インタメディア代表の佐山吉孝さんから「昔のおもかげを探してまち歩き/その三、田園都市構想のまち小山・旗の台を歩く」と題してお話を伺いました。
歩いているとまちの成り立ちや地

域の歴史を知ることができます。この地域も坂が多く、小高い丘の上にある小山八幡神社境内からは東京タワーが、また江戸見坂からは新宿副都心が見られます。当時はこの場所から江戸のまちがよく眺められたのでしょう。

品川区と目黒区にまたがって林試の森公園がありますが、春は桜、秋には池に映る紅葉がとてもきれいで、いつ行っても本当に気持ちの良い公園です。ぜひ訪れてみてほしいと思います。

環境記者を募集しています

環境情報活動センターでは現在区民「環境記者」を募集しています。
花の開花情報、地域の環境イベント情報、環境活動など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方

を環境記者として登録します。いただいた記事や写真は環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。区内在住、在勤、在学で環境に興味のある方のご応募をお待ちしています。
詳細は環境情報活動センターまで (TEL 5742-6533)

しながわをもっと知ろう

旧東海道を歩いてみませんか

品川橋を渡ると南品川に入ります。商店がたくさんあった北品川に比べると民家が多くなり、落ちついたまち並みです。



品川橋を渡ると「街道松の広場」があり、ここに浜松から贈られた立派な松があります。その先三島、袋井、大磯、保土ヶ谷などの宿場まちから寄贈された松が旧東海道沿いに続きます。これらの松は歩道に敷かれた石畳とともにまち歩きを楽しませてくれます。

京急鮫洲駅を過ぎて左に折れると勝島運河に出ます。雑草の生い茂った運河だった勝島運河は「しながわ花海道」(→)となって春には菜の花、秋にはコスモスが咲きます。



「しながわ花海道」は平成14年に「勝島運河の土手をお花畑にしよう」を合言葉に立会川商店街、鮫洲商店街が中心になって「しながわ花海道プロジェクト」を設立し、運河の土手にある1.5m四方の区画およそ1200区画に個人やグループ、学校、企業などが種をまき、花を咲かせて楽しんでいます。

京急立会川に向かって旧東海道に戻ると浜川橋(なみだ橋)があります。刑場に引かれる罪人と縁者が今生の別れを告げたこの橋の約700m先に八百屋お七が処刑されたことで知られた鈴ヶ森刑場跡があります。このあと旧東海道は第一京浜と合流し、川崎宿へと続きます。

北品川から鈴ヶ森刑場跡までは約3.5km。通してのんびり歩いて2時間くらいです。途中には京急の北品川、新馬場、青物横丁、鮫洲、立会川の各駅があるので、疲れても気軽に歩けるといいます。

しながわ区民公園へ行ってみませんか

しながわ区民公園は区立公園としては最大規模の総合公園として昭和62年4月に全面オープンしました。

同公園は「花とひろばと水の緑の公園」をテーマとして、①大規模なレクリエーションの場の確保 ②緑化を進め自然を回復する ③防災機能の強化 の三つを柱として整備されています。

ここでは「緑と自然」についてご紹介します。

公園の北口を入るとすぐに「桜の広場」があり、3月末から4月にかけて約400本の白と淡いピンクの桜(ソメイヨシノ)が私たちを迎えてくれます。

紅葉の時期にはモミジやカエデの紅色とイチョウの黄色が私たちの目を引きつけます。

寒い冬には梅やツバキ、



上と左の写真は環境記者の内田雅弘さんからお送りいただいた写真です。(上)「子供たちはお花見というより遊びが一番です」(左)「紅葉やツワブキが残るせせらぎは海水で、勝島の海に流れ込んでいます」とご紹介いただきました。

サザンカが咲き、年間を通してきれいな花々を楽しむことができます。

園内には下の写真のような小路があり、夏場には一時的清涼感を味わうことができます。この小路には剪定枝から作られたチップ材が敷き詰められ、歩きやすい路作りがされています。



緑と自然にふれあえる公園ですが、ほかにもスポーツ広場、噴水広場、子供の遊び場など、家族で楽しめる施設が整ったしながわ区民公園を訪れてみてはいかがでしょうか。



また倒れかかった樹木廃材からベンチや木柵作り、剪定枝や落葉から堆肥・腐葉土を作っており、リサイクル資源を公園内で利用することにより、循環型リサイクルが進められています。



環境学習講座

環境情報活動センターでは年間を通じて環境講座と夏休み・春休みに子ども環境講座を開催しています。広報しながら、当センターホームページ(右下枠内)などでご案内しています。

幕末の御台場埋め立てと品川宿 (2月14日)

講師：品川歴史館学芸員 富川武史氏

幕末の御台場埋め立てを取り巻く品川宿の環境変化についての講義でした。御殿山などの土を海上に埋め立てることによる人工島砲台築造は品川宿に大きな被害をもたらしました。品川宿の家屋取り壊しがあり、当時品川沖で獲れたさまざまな魚が獲れなくなってしまいました。



乾いた大地のペンギン ‘マゼランペンギン’

(2月21日) 講師：ペンギン写真家 鎌倉文也氏



「ペンギン＝南極」というイメージが強いと思いますが、雪や氷のない場所にすむペンギンがたくさんいます。南米パタゴニア地方の乾いた大地に巣を作って子育てするマゼランペンギンや人々の暮らしがペンギンに与えている影響などについて、スクリーンに映し出される可愛いペンギンの写真を見ながらお話ししていただきました。

「次世代自動車」ってどんな車？ (2月28日)

講師：次世代自動車振興センター事務局長 榎田剛司氏

次世代自動車、即ちクリーンエネルギーですが、主として電気自動車とハイブリッド自動車について、その歴史と現状、さらに今後の見通しについてお話ししていただきました。

(写真は郵便事業株式会社提供)



春の寄せ植え (3月5日)

講師：秋草会メンバー

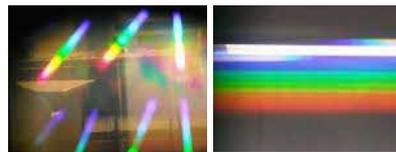
草にベニガヤを添えて寄せ植えをしました。7～8月には開花予定の花で、夏に向けて観賞していただけます。またそれらの花などの魅力、特徴、育成方法を解説していただきました。



光の実験～白い光の正体を探ろう～ (3月7日)

講師：独立行政法人科学技術振興機構

理科大好きボランティア講師 久保利加子氏



白い光とはどんな光なのでしょう？分光シートを使って電球や蛍光灯の光を観察しながら、白い光がいろいろな色の光からできていることを学びました(左電球の光、右蛍光灯の光)。また光とLED(発光ダイオード)に対する関心を深め、環境にやさしい照明の利用を考えました。

また光とLED(発光ダイオード)に対する関心を深め、環境にやさしい照明の利用を考えました。

生きものについてもっと知ろう (3月14日)

講師：日本環境協会子ども相談室相談員

環境カウンセラー 平沢信夫氏

聴診器を使って木々の鼓動を聴きました。水が流れるような音、ザーという音、ドクドクといった音も聞こえました。春になり虫が動きはじめました。前もって仕掛けを作っておき、土の中の虫を採取し観察しました。



エコサポーターを募集しています

環境学習講座では野外へ出かける講座や子どもを対象とした講座があり、そのお手伝いをしてくださる方を募集しています。

詳細は品川区環境情報活動センターまで(TEL 5742-6533)

品川区環境情報活動センター 今後の環境学習講座予定

①さき布から「ぞうり」を作ろう

(中学生以上)家庭にあるさき布を使って、リジナル「ぞうり」を作ります。

日時/4月25日(日), 29日(祝)14時～16時30分(2日で完成します)

②親子で楽しみながら学ぶエコゲーム

(小学生と保護者) すごろくやカードゲームで省エネを学びます。

日時/5月2日(日)14時～16時

③極寒の地に生きるシロクマと温暖化

(一般) 地球温暖化でシロクマの生息がおびやかされています。

日時/5月23日(日)14時～16時

④しながわ区民公園で自然とふれあおう

(小学生と保護者)

五感を使って自然を観察します。

日時/5月30日(日)14時～16時

場所/しながわ区民公園

⑤エコツーリズム先進国、コスタリカの

自然と野鳥を訪ねて(一般)

日時/6月12日(土)14時～16時

「場所」の記載のない講座は、すべて環境情報活動センターで開催予定。講座はいずれも予定、名称は仮称です。応募方法等については「広報しながわ」、品川区環境情報活動センターのホームページにて後日掲載します。

しながわECOだより2009年度Vol.4

発行：品川区都市環境事業部

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成22年3月25日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています